



ACA活動紹介

「ほんと？ホント！フェア」開催報告

不正商品対策協議会(ACA)は、以下のとおりの啓発イベントを実施しました。「ほんと？ホント！フェア」とは、全国のショッピングモールのイベントスペースなどを会場に、ご家族連れなど一般消費者の方々に向け、知的財産の保護および海賊版や偽ブランド品、偽キャラクターグッズといった不正商品の排除を訴えるイベントで、過去56回の開催を数えます。

2023年は、以下のとおり実施し、6か所で合計約10,100人の方々にご来場いただきました。各フェアにおいては、知的財産の保護と不正商品の排除を目的としたステージ○×クイズ大会やホンモノ・ニセモノ比較展示等を実施しました。

ほんと？ホント！フェアin宮城



- 開催日 2023年2月26日(土)
- 会場 イオンモール新利府
- 後援 警察庁／特許庁／宮城県警察本部
- 出演 ジョイマン／メリィ／宮城県警察音楽隊
- 司会 相場詩織
- 来場者 約2,500人

ほんと？ホント！フェアin大分



- 開催日 2023年5月13日(土)
- 会場 大分市 お部屋ラボ 祝祭の広場
- 後援 警察庁／特許庁／大分県警察
- 協力 大分県立芸術文化短期大学
- 出演 ジョイマン／野良レンジャー／MERAKI DANCE STUDIO／芸短大オペラサークル「Opera Piena di Vita」／大分県立芸術文化短期大学 野田研究室
- 司会 田名部真理
- 来場者 約600人

ほんと？ホント！フェアin群馬



- 開催日 2023年7月1日(土)
- 会場 イオンモール高崎 セントラルコート
- 後援 警察庁／特許庁／群馬県警察本部／高崎北警察署
- 出演 つのだりょうこ／メリィ
- 司会 福田友理子
- 来場者 約1,800人

ほんと？ホント！フェアin旭川



- 開催日 2023年8月26日(土)～27日(日)
- 会場 平和通買物公園／アッシュアトリウム
- 後援 警察庁／特許庁／北海道警察旭川方面本部生活安全課／旭川中央警察署／旭川市
- 出演 とにかく明るい安村／北海道警察音楽隊／EOS DANCE STUDIO
- 司会 早坂はるな
- 来場者 約1,900人(1日目：約600人／2日目：約1300人)

ほんと？ホント！フェアin土岐



- 開催日 2023年10月14日(土)
- 会場 イオンモール土岐 北コート／TOKINIWA
- 後援 警察庁／特許庁／岐阜県警察本部／岐阜県多治見警察署
- 出演 北野瑠華(SKE48 チームKII)／風船太郎／岐阜県警察音楽隊／多治見警察総本部ソーラン節隊
- 司会 小林美鈴
- 来場者 約1,700人

ほんと？ホント！フェアin鳥取



- 開催日 2023年11月19日(日)
- 会場 イオンモール鳥取北 セントラルコート
- 後援 警察庁／特許庁／鳥取県警察本部
- 出演 いとうまゆ／鳥取県警察音楽隊
- 司会 田名部真理
- 来場者 約1,600人

ACA活動紹介

「アジア知的財産権シンポジウム2024」開催報告

2024年1月22日、日本経済新聞社主催、不正商品対策協議会(ACA)、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)共催による「アジア知的財産権シンポジウム2024 ビジネスの成長を支える知的財産 ～各国の事例から教育まで多角的視点からの考察～」を東京都千代田区の日経ホールにて開催しました(後援：知的財産戦略本部／警察庁／総務省／外務省／文化庁／経済産業省)。

このアジア知的財産権シンポジウムは、知的財産の保護と不正商品の排除を目的として1998年から開催しており、今回で17回目となりました。

「各国の事例から教育まで多角的視点からの考察」の副題が示すとおり、若年層へ向けた教育啓発事業についてや、アジア3か国からお招きしたスピーカーによる事例紹介を含むなど、各界の有識者からコンテンツ産業の成長を目的とした最新の取り組みや動向をご紹介します、これからの知的財産権のあり方について議論を展開する大変意義深い機会となりました。

なお、今回の聴講は会場でのリアル参加のみとしました。



【実施概要】

- 名称 アジア知的財産権シンポジウム 2024
ビジネスの成長を支える知的財産 ～各国の事例から教育まで多角的視点からの考察～
- 日時 2024年1月22日(月) 10:30～17:20 (開場10:00)
- 会場 日経ホール (東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3階)
- 主催 日本経済新聞社
- 共催 不正商品対策協議会(ACA)／コンテンツ海外流通促進機構(CODA)
- 後援 知的財産戦略本部／警察庁／総務省／外務省／文化庁／経済産業省
- 来場者 170人

【プログラムと出演者(敬称略)】

- 特別発表 「10代デジタルエチケットキャッチコピーAWARD2023」
- キーノートスピーチ
・自由民主党知的財産戦略調査会顧問 コンテンツ産業振興議員連盟会長 甘利 明氏
- 関係省庁の取り組み
「知的財産権侵害事犯取締りの現状」
・警察庁 生活安全局 生活経済対策管理官付 知的財産権保護対策官 梶原 田鶴氏
「コンテンツ産業政策の現状及び方向性について」
・経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課長 渡邊佳奈子氏
- 事例紹介
「デジタル時代のオンライン著作権保護におけるベスト・プラクティス」
＜コーディネーター＞
・コンテンツ海外流通促進機構 エンフォースメント担当部長 伊奈 正晴
＜講演者＞
・タイ知的財産局(DIP) 知的財産執行室 知的財産権執行開発システム管理グループ
グループ長 ルアンロン・ブンヤラッタバン氏
・フィリピン知的財産庁(IPOPHL) 局長 ロウエル・セヴィラ・バーバ氏
・韓国著作権保護院(KCOPA) 侵害対応本部本部長 チョン・ソクチョル氏
・ACA事務局長、CODA代表理事 後藤 健郎
- パネルディスカッション
「デジタル化・グローバル社会におけるIPビジネスの最新動向」
＜パネリスト＞
・染井・前田・中川法律事務所、ACA監事 前田 哲男氏
・東映 上席執行役員 キャラクター戦略部担当
ドラマ企画制作部ヘッドプロデューサー 白倉 伸一郎氏
・ACA事務局長、CODA代表理事 後藤 健郎
＜コーディネーター＞
・日本経済新聞社 サイバーセキュリティエディター 岩澤 明信氏

